小樽育成院だより　平成29年8月発行

えがお

47号
2017年

▶オタモイデイサービスセンターの利用者様、手作り和紙工芸で
お互いに作品の出来栄えに大満足のえがおのお二人！！

社会福祉法人 小樽育成院　運営理念

基本的人権の確保と擁護

～人間を大切にするサービスの提供～

利用者様の自立した生活を支援するためのサービスを提供します。

利用者様の生活と生き方を尊重したサービスを提供します。

利用者様中心のサービスを提供します。

発行／　社会福祉法人 小樽育成院

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号
TEL: (0134) 28−2500 (代)　FAX: (0134) 26−2476
URL: http://www.otaru-ikuseiin.com 育成院 検索

社会福祉法人小樽育成院 平成28年度決算概要について

法人としての決算概要

平成 28 年度は社会福祉法の改正への対応を基本として事業計画を立て、その中で四つの重点目標を掲げ事業運営に当たりました。

1 収支の改善及び本部機能の強化と一元化の推進

◆各事業所の効率的な体制への変更や稼働率の向上に努め、法人全体の収入額は前年度に比べ増額となり、収支額も改善しました。
◆ただ、デイサービスセンターは当初見込みより収支額が悪化し、今後の運営の見直しが必要です。また、特養では設備資金借入の借換えで運転資金を確保し、安定した運営を図ることができました。
◆法人の組織統治については、平成29年度に施行された改正社会福祉法に則った定款や諸規程の変更等、組織体制や運用ルールの整備を行いました。

2 法人理念の追求と実現

◆法人全職員を対象に法人理念研修を開催し、理念の「基本的人権の確保と擁護」の浸透と共有を図りました。
◆苦情相談委員会や虐待防止委員会の定期開催を通じ、第三者委員の指導・助言を活かし、サービスの点検と改善を行いました。

3 人材確保と育成

◆従前の採用活動のほか、高校卒業生、市内主婦層や募集媒体等の活用などの採用活動に取り組んだ結果、中途採用者のほか平成29年度新卒者の採用に繋がりました。
◆障がい者の雇用も積極的に取り組み、高等支援学校学生の実習受け入れで採用に結びつきました。
◆平成28年度より資格取得助成制度を創設し、職員の経済的支援と資質向上のサポートを図った結果、５名の活用がありました。

4 地域連携と情報発信

◆従前の地域活動のほか、広報誌「えがお」を年１回から２回の発行とし、関係者等への情報提供活動を行いました。
◆小樽市福祉協議会、後志報恩会、北海道宏栄社と当法人からなる意見懇談会で市内社会福祉法人と連携した地域活動を模索し、本年度は「地域福祉フォーラム」の開催により地域づくりの課題を発信しました。

●平成28年度 社会福祉法人小樽育成院 決算報告

平成29年3月31日現在

貸借対照表の要旨

（単位；円）

科　目	金　額
資産の部	
流動資産	411,898,580
固定資産	1,646,737,415
(基本財産)	1,465,691,203
(その他の固定資産)	181,046,212
資産の部合計	2,058,635,995
負債の部	
流動負債	89,852,205
固定負債	327,337,925
負債の部合計	417,190,130
純資産の部	
基本金	222,861,910
国庫補助金等特別積立金	865,924,931
その他の積立金	63,186,978
次期繰越活動増減差額	489,472,046
純資産の部合計	1,641,445,865
負債及び純資産の部合計	2,058,635,995

純資産の部
・「基本金」は事業開始等に受けた寄付の額。
・「国庫補助金等特別積立金」は施設整備等のために受けた補助金等の額。
・「その他の積立金」と「次期繰越活動増減差額」は法人が自ら生み出した蓄積額。

事業活動計算書の要旨

（単位；円）

科　目		金　額
サービス活動増減	サービス活動収益	1,068,855,836
	サービス活動費用	1,050,721,893
	サービス活動増減差額 (1)	18,133,943
サービス活動外増減	サービス活動外収益	6,781,537
	サービス活動外費用	19,193,749
	サービス活動外増減差額 (2)	△12,412,212
経常増減差額 (3)=(1)+(2)		5,721,731
特別増減	特別収益	2,740,093
	特別費用	2,740,098
	特別増減差額 (4)	△5
当期活動増減差額 (5)=(3)+(4)		5,721,726
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額 (6)	468,810,400
	当期末繰越活動増減差額 (7)=(5)+(6)	474,532,126
	基本金取崩額 (8)	
	その他の積立金取崩額 (9)	15,000,000
	その他の積立金積立額 (10)	60,080
	次期繰越活動増減差額 (11)=(7)+(8)+(9)-(10)	489,472,046

・減価償却費はサービス活動費用の中に計上。

資金収支計算書の要旨

（単位；円）

科　目		金　額
事業活動による収支	事業活動収入	1,075,637,373
	事業活動支出	1,007,460,765
	事業活動資金収支差額 (1)	68,176,608
施設整備等による収支	施設整備等収入	234,820,093
	施設整備等支出	260,183,370
	施設整備等資金収支差額 (2)	△25,363,277

（単位；円）

科　目		金　額
その他の活動による収支	その他の活動収入	15,500,103
	その他の活動支出	11,712,570
	その他の活動資金収支差額 (3)	3,787,533
当期資金収支差額合計 (4)=(1)+(2)+(3)		46,600,864
前期末支払資金残高 (5)		331,089,861
当期末支払資金残高 (6)=(4)+(5)		377,690,725

・「事業活動資金収支差額」は重要な指標で事業継続のためには、プラスを維持する必要がある。
・「施設整備等支出」には固定資産取得に係る借入金返済、固定資産取得のための支出を計上。
・「当期資金収支差額合計」は1年間の運転資金の増減差額を示している。
・「当期末支払資金残高」は当期末における運転資金の残高。

※決算報告の詳細については、社会福祉法人小樽育成院や全国社会福祉法人経営者協議会のホームページでご覧いただけます。

養護老人ホーム 小樽育成院

小樽市オタモイ1丁目20番20号
TEL(0134)26-0162

育成院では、近年、入所者様の重度化が進み、職員体制等の取り組みが喫緊の課題であります。そのため経営基盤の安定として、入所者様の稼働率は96.8%と前年度を下回りましたが、平成28年10月に特定施設部門を変更し、対象者が増加した結果、措置費収入は減少しましたが介護保険収入は増加し、前年度に比べて収入全体では増加しました。

人材の確保では、新規採用者はいませんでしたが、法人内部移動と中途採用者等でほぼ必要人員を確保することができました。そのほか衛生委員会機能やストレスチェック結果を踏まえた対応策等、働きやすい職場づくりに努めました。

また、毎年行っているボランティア懇談会の提言から、ボランティア活動団体同士のコラボが今年1月の『初釜』行事で実現しました。入居者様から高い評価を受け次年度に繋ぐことができました。

茶道、詩吟、華道、琴アンサンブル、ボランティア虹の会の皆さんとのコラボで入所者様もご満悦

特別養護老人ホーム やすらぎ荘

小樽市オタモイ1丁目20番18号
TEL(0134)28-2500

やすらぎ荘では、稼働率の安定を目指すため、空床ロスをなくす取り組み、入院者へ適切な情報収集を行うことにより、ベッド効率の安定を図りました。この取り組みは毎年核となる重要な視点となっています。

地域への教育的機能の提供に関しては、引き続き、看護や歯科衛生、薬科大など学生を積極的に受け入れました。これから専門職として活躍する方々に対して、特別養護老人ホームの機能や役割を実践者が経験を通して伝えることは、地域貢献に繋がっているものと考えています。

今年始めた新しい活動では、市内衣料販売店に来ていただき、衣類の販売を行いました。衣類を選ぶ利用者様の目は真剣で、大変好評でした。利用者様のいきいきとした表情が見られる活動を、今後も続けていきます。

職員と一緒になって衣類の品定めに一生懸命です

オタモイ デイサービスセンター

小樽市オタモイ1丁目20番19号
TEL(0134)26-1116

オタモイデイサービスセンターでは、昨年度から利用定員を35名から18名にして、地域密着型デイサービスとして事業運営しています。

地域密着型の特徴は、年に2回「運営推進会議」を開催し、地域の代表の方や利用者様及び、ご家族の方に参加していただき、より地域に開かれたデイサービスとなるよう、活動状況の報告や地域についてのお話しをお聞きしています。

また、定員数を減らしたことにより、利用者様からのご希望にお答えしやすくなり、ドライブ会を実施致しました。昨年10月に秋のドライブとして仁木の「きのこ王国」に出かけ、今年の5月には、「かま栄のかまぼこ」や「新南樽市場」「イオン」などへ買い物に行っています。今後も、住み慣れた地域で自分らしく生活が送れるように、色々なサービスを提供していきます。

職員やボランティアさんと一緒に老舗蒲鉾店で買い物

オタモイ ケアプランセンター

小樽市オタモイ1丁目20番18号（やすらぎ荘内）
フリーダイヤル 0120-514-294

ケアプランの給付管理件数は月平均で141件で、地域の方々や関係機関からの相談を頂き、前年度を年間で58件上回り、給付数のほぼ上限で推移しました。

近年、老々介護や独居高齢者の課題も多くなってきていますが、各サービス事業所、医療機関、地域の方々とのチームワークを大切にしながら、利用者様とご家族が納得できる選択の為の情報提供や自立に向けての支援を心掛けてきました。今後も職員一同、住み慣れた地域で利用者様が利用者様らしく過ごせるように努めていきます。

小樽市北西部 地域包括支援センター

小樽市オタモイ1丁目20番18号（やすらぎ荘内）
TEL(0134)28-2522

平成28年度は、包括支援センターにとって大きく変化のある一年でした。

一つは、平成28年10月から施行した日常生活総合支援事業への移行です。利用者様へは、順次説明をさせていただき、大きなトラブルもなく手続きを勧めることができました。

二つ目は、地域包括支援センター機能強化事業として①生活コーディネーター、②在宅医療介護連携推進事業、③認知症初期集中支援推進員、④認知症初期集中支援チームの取組みを包括内でチームを組みながら活動を始め、今後もさらに具体的な活動に取り組んでいきます。

蘭越町上里地区の小樽育成院の開墾地を訪ねて

社会福祉法人小樽育成院は来年、創立120年を迎えますが、養護老人ホームの入居者様にこのお話をしたところ、是非、その地を訪ねてみたいとの希望もあり、職員とともに初代院長の石碑もあることから、その清掃も兼ねて訪ねてみました。

さて、小樽育成院は明治31年に孤児院としてはじまり、明治・大正の時代は、経営資金の大半を周囲の善意に頼っていましたが、輿水伊代吉院長は院生の経済的自立を願い、大正4年10月、蘭越町目国内（現上里地区）に44町歩程の土地を購入し、義務教育を終えた院生16名とともにこの地で開墾を始めました。その後、大正11年10月8日に育成神社を建立しましたが、昭和16年10月、輿水院長が急逝。院長の死去後も農場経営は細々と続けられましたが、戦後、入植された開拓者に土地と育成神社も合わせて売却され育成院農場の歴史を閉じました。

その育成神社は上里地区の方々の手によって、現在も立派なたたずまいを見せています。この地区の近くを流れるパンケ目国内川にかかる橋には、「育成院橋」という名前が付けられています。

この地を訪ね、入居者様は高齢なため無理せず拝殿で地区の方々と懇談して頂く一方、職員は石碑を清掃しましたが、永年の風雪により傷みが進んでいることが分かり修復が必要だと思いながらこの地を後に帰院しました。

今回の訪問に際しては、上里地区の代表者や近隣の方々に何かとご協力をいただき紙面をお借りして感謝申し上げます。

蘭越目国内の神社参詣記

神杉

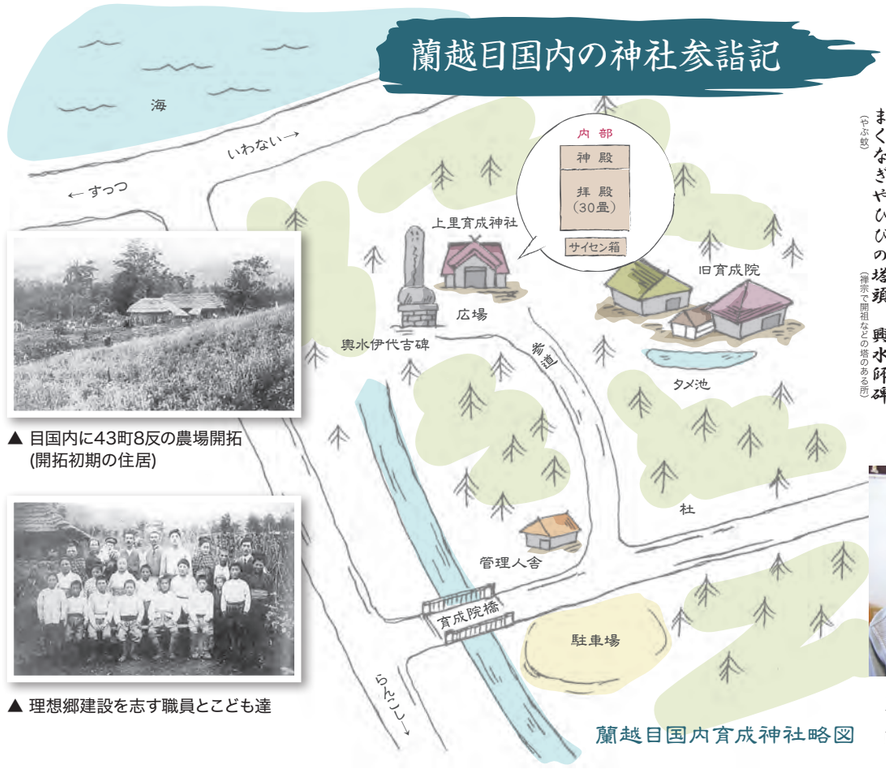
山清水　杜の神杉　目国内

五月晴れ　昼なお暗き　神杉

せゝらぎやそは　杉花の精か言霊か

まくなぎやひびの塔頭　興水師碑

（やぶ萱）（常宗で開祖などの墓のある所）



蘭越目国内育成神社略図

▲ 目国内に43町8反の農場開拓（開拓初期の住居）

▲ 理想郷建設を志す職員とこども達

車　信作 さん
昭和8年生の84歳

6月3日(土)午前10時に育成院を出発し、途中倶知安にて休憩を40分程とり、雄大な羊蹄を眺め、晴々とした気持で再び車中の人となり1時間程で育成院橋に到着。清らかな川の流れのせゝらぎの音、自然豊かで深山幽谷の感がありました。清らかな気持で神域に入り、地元の方々の案内で杉木立の参道を300m程歩き御社に到着しました。全員で参拝したのち、御宮の歴史の事を伺いました。この御宮は大正11年地元の人の真心により鎮守の神様として建立したとの事でした。毎年9月8日を「御祭の日」と定めているとの事でした。これも地元の人の崇拝の念が厚い現れと感じました。

この地区は明治の始め秋田、山形の人々が入植し、原始林を切り開いて現在に至っているとのことで、そのことを思うと先人の大変なご労苦が偲ばれます。地区の人口は、現在60名程で子供たちを毎日蘭越町内にある学校まで車で送り迎えしているとの事でした。

神さびて立てる山かも羊蹄は蝦夷地を鎮め守り給はん
村人が真心込めて建立の育成神社幾千代迄も

上里地区の皆々様の御多幸を御祈り申し上げます。

草々

長谷川　広造 さん
大正13年生の93歳

育成院創立120年を迎える前に利用者の代表として、私と長谷川さん、車さんの3名が施設長さん始めとして職員皆さんの協力を受け蘭越上里地区にある神社や石碑を訪ねました。特に私は高齢のため職員に手とり足とりしてもらいながら七時間半の旅を終えて無事戻って参った次第です。

先ず、蘭越町目國内にある育成神社は大正11年に建設をされて以来、95年を過ぎておりますが写真のように今でも立派に建っております。また、神社へ行く道すがらの川には施設と同じ名の育成院橋が掛けられていました。

神社を建立してから50年以上経った昭和50年頃、神社の傷みが酷くなったことを受けこの地区の方々によって大きな修繕がされたとのことでした。その修繕費用の寄贈者一覧の銘板が拝殿の壁に掲げられているのを拝見し、地元の方々から長年に渡り手厚く神社が守られてきていることに、深く感銘を受けた次第であります。

近藤　福太郎 さん
大正11年生の95歳

来年、法人設立120年を迎えるにあたって

今号の特集では、入居者様と職員が同行して蘭越町上里地区で輿水院長とその院生たちの足跡に思いを馳せながらの訪問でありました。まず現地を訪れ鳥居とその奥に育成神社の社があり、その左横境内に「初代院長輿水伊代吉之碑」の石碑が建立されています。

同行した利用者様3名の方々には、それぞれの想いを絵や俳句等で寄稿していただき、この紙面で紹介させて貰いました。ご高齢にもかかわらず同行していただきましたが、当時の開墾地の様子が大変だったことが入居者様の寄稿から伝わってきます。私たち職員も先人に感謝しながら永久に、この地区の方々とともに歴史が語り継がれるよう、微力ながら見守っていきたいと思うと同時に、来年の120年の節目として関連事業にも取り組んでいきたいと思いを新たにしました。

平成28年度

社会福祉法人小樽育成院で実施したおもな年間行事

【法人】…法人全体
【育成院】…小樽育成院
【やすらぎ】…やすらぎ荘
【デイ】…オタモイデイサービスセンター
【地域包括】…北西部地域包括支援センター

4月 April

【育成院】
喫茶「えがお」(毎月)
エンジョイクラブ(毎月)
【やすらぎ】
歌・**花サークル**、
茶話会(毎月)

【デイ】
音楽セラピー、絵手紙、
和紙工芸(毎月)
【地域包括】
事業所向け広報紙
「ニコリティー」
4月、7月、12月発行

花サークル

音楽セラピー

5月 May

【法人】
理事会・評議員会
【育成院】
リズム体操教室(毎週火曜日)
パークゴルフ始球式
【デイ】
お花見ドライブ

【地域包括】
シニア元気教室(毎月2回)
地域向け広報紙
「にこりてぃ」
5月、8月、1月発行

シニア元気教室

6月 June

【法人】
オタモイ唐門まつり

【デイ】
おやつ作り(手作りクレープ)
出前調理

出前調理

7月 July

【育成院】
管内利用者交流
　パークゴルフ大会
育成院運動会
ジンギスカン昼食

【デイ】
野外昼食会
　(鮭のチャンチャン焼き)
【地域包括】
オタモイ団地意見交換会
包括支援センター運営協議会

野外昼食会

8月 August

【法人】
合同慰霊祭
地蔵尊祭
オタモイ盆踊り・
花火大会(町会と共催)

【育成院】
七夕飾り
みなとライオンズ
　盆菓子寄贈
【やすらぎ】
中庭昼食会

オタモイ団地意見交換会

地蔵尊祭

みなとライオンズ盆菓子寄贈

9月 September

【法人】
理事会・評議員会
小樽潮太鼓演奏
苦情相談・虐待防止委員会
【育成院】
明大マンドリンクラブ演奏会
幸小学生5年生総合学習
バス旅行会
敬老の日行事

【やすらぎ】
敬老の日行事
【デイ】
敬老の日行事
【地域包括】
介護予防フェアー
　(ウイングベイ小樽)

明大マンドリンクラブ演奏会

敬老の日行事

10月 October

【法人】
育成院神社祭
法人・町会
　合同防災訓練
【育成院】
ロース幼稚園来訪
ボランティア懇談会

【やすらぎ】
中央幼稚園来訪
【デイ】
紅葉ドライブ

ロース幼稚園来訪

紅葉ドライブ

11月 November

【法人】
介護相談フェアー
【育成院】
長橋幼稚園来訪
中山様マジックショー

【地域包括】
虐待防止
　ネットワーク会議

中山様マジックショー

12月 December

【法人】
理事会・評議員会

【各事業所】
クリスマス会
【やすらぎ・デイ】
餅つき

餅つき

1月 January

【法人】
理事会・評議員会
【各事業所】
新年交礼会
【育成院】
獅子舞、かるた会
初釜、鏡開き

【やすらぎ】
獅子舞、**初釜**
【デイ】
新年会

初釜

2月 February

【育成院・やすらぎ】
節分、雪あかりの路
夜間想定火災訓練

【地域包括】
高齢者見守り
　ネットワーク会議
包括支援センター
　運営協議会

節分

3月 March

【法人】
理事会・評議員会
【育成院】
雛祭り・お茶会
【やすらぎ】
生寿司

【デイ】
雛祭り
【地域包括】
SOSネット
　ワーク会議

雪あかりの路

生寿司

雛祭り

※太文字の行事を写真で掲載し、
昨年度のものを使用しています。

TOPICS トピックス 第9回

「唐門祭り」を開催

～久し振りの好天に恵まれた、お祭り日和～

「唐門祭り」は、社会福祉法人小樽育成院とオタモイ町会が合同で企画し、オタモイ地域の皆様と入居者様、そのご家族、法人スタッフがイベントを通じて地域の交流等を図り、町会と社会福祉施設事業の活動などに理解を深めてもらうために、毎年6月の第3土曜日のこの時期に開催しており、今年で9回目となりました。

今年は素晴らしい天候にも恵まれ、お祭り日和の一日となりました。今年も町会・法人・小樽身障者協会等によるたこ焼き、豚串、チョコバナナなど沢山の屋台が並び、大変好評で行列が出来る屋台もありました。

縁日では射的や宝箱、ヨーヨー釣り、くじ引きなど子供たちを中心に賑わっていました。

衣装も艶やかなハワイアンダンス

ステージでは、元気いっぱいで可愛らしいオタモイ龍徳保育園の園児さんによるお遊戯や、ゆったりとした踊りのハワイアンダンス、オタモイ町会カラオケクラブの皆さんによる熱唱カラオケ、また今回、初ステージとなるプロ演歌歌手の日和よし貴さんはさすがプロ！と納得の圧巻の歌声でした。恒例の小樽商科大学「翔楽舞」の皆さんによる華やかなヨサコイ演舞は、迫力があり素晴らしいフィナーレでした。

保育園児全員によるお遊戯

「翔楽舞」皆さんによるヨサコイ

終わりになりますが、お祭りを支えて頂いた地域の方々、コープさっぽろ虹の会、三期会、小樽市立高等看護学院の皆さんのおかげで「唐門祭り」を開催することが出来ました。ご協力下さりありがとうございました。来年も皆さんに楽しんでいただける「唐門祭り」を開催したいと思います。

小樽出身の演歌歌手が利用者様へご挨拶の握手、歌声も迫力満点、さすがプロですね

絶好の天気の中、芝生の広場でテーブルを囲み、屋台から買った物を食べながらステージ観覧

編集後記

当法人が来年の6月、創立120周年の節目の年にあたることは前号にも掲載いたしましたが、大変な歴史の重みを感じています。「小樽孤児院」から始まり、現在は紙面のご紹介通り、法人として様々な社会的ニーズに応える事業展開を行っています。そういう意味では、歴史はその時代的背景と社会的ニーズにより移り変わり積み上げられていく産物なのかもしれません。

今後も、現存する課題やニーズを汲み取り将来的な展望を描きながら法人運営を図っていく必要があると考えますが、そのためには皆様方のご指導とご協力を賜わなければならないと思っています。幸いなことに社会福祉法人小樽育成院の広報誌「えがお」は発行回数を増やし、事業内容をタイムリーに掲載していきます。ぜひご一読いただき、ご意見等を頂戴し法人運営に反映させることが出来れば、社会福祉の増進に少しでも寄与できるのではないかと考えています。

（M・Mのつぶやき）